

仙台市文化芸術に関する意識調査結果

【概要・まとめ】

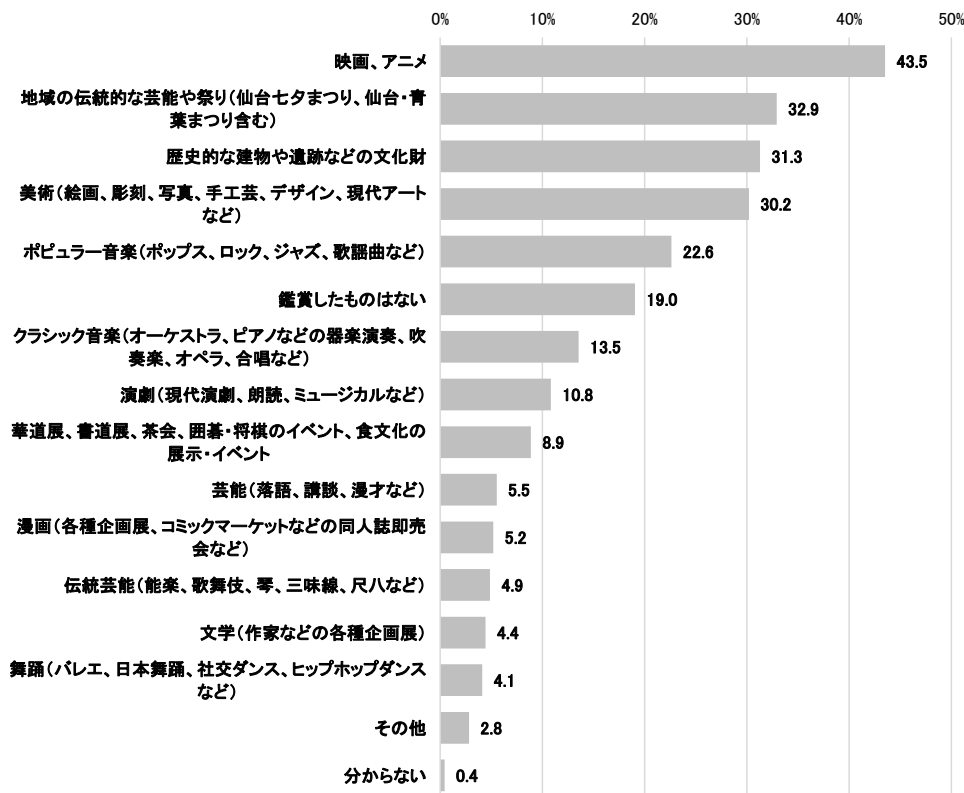
仙台市文化芸術に関する意識調査 実施概要

※調査結果の本編は参考1を参照

(1)調査目的	文化芸術に関する市民の意識や鑑賞・活動の状況等を統計的に把握し、具体の施策の検討に生かすこと。
(2)調査期間	令和4年12月21日～令和5年1月20日
(3)調査対象	3,000人 仙台市在住で、令和4年11月1日現在、15歳以上の男女を各区の人口比に応じて無作為に抽出
(4)調査方法	郵送による調査票(無記名)配布・郵送またはWEB(みやぎ電子申請サービス)による回収
(5)回収率	30.8%(924人/3,000人)
(6)回答者の年齢構成	10代 6.7% 20代 7.0% 30代 13.7% 40代 14.5% 50代 16.8% 60代 22.3% 70歳以上 18.8%

① この1年間の鑑賞の状況(直接鑑賞) 問1-1

■全体の鑑賞率 79.1%



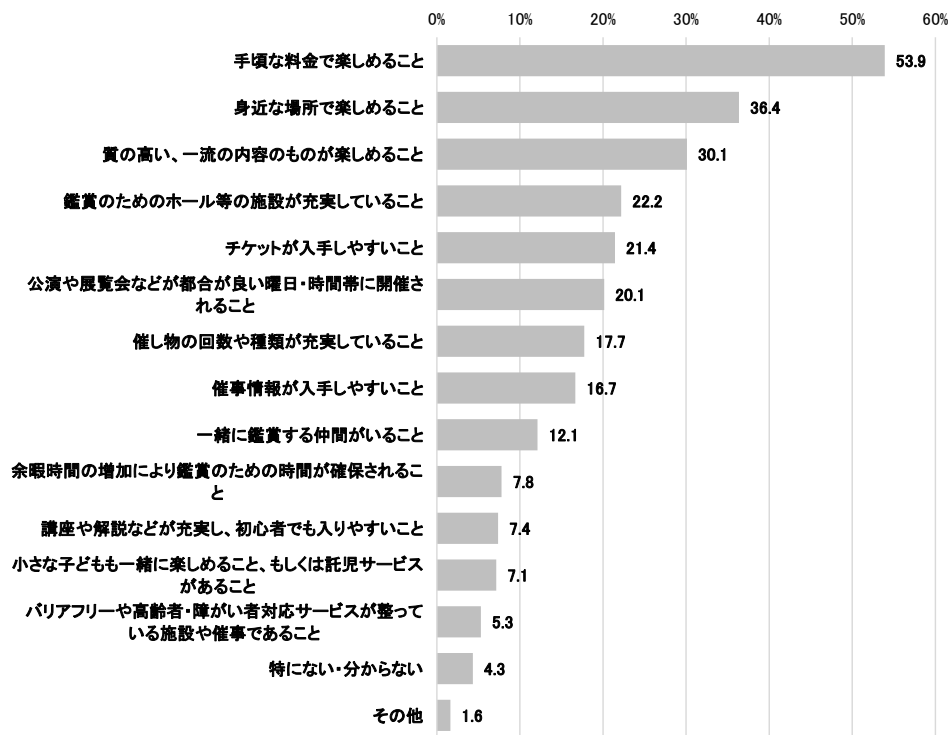
■年代別の特徴 (年代別のトップ回答)

- ・10代～50代 映画、アニメ
- ・60代 歴史的な建物や遺跡などの文化財
- ・70代 地域の伝統的な芸能や祭り

② 鑑賞のために望ましいと思うこと(直接鑑賞) 問2

【全体集計】

- 1位 手頃な料金で楽しめること
- 2位 身近な場所で楽しめること
- 3位 質の高い、一流の内容のものが楽しめること



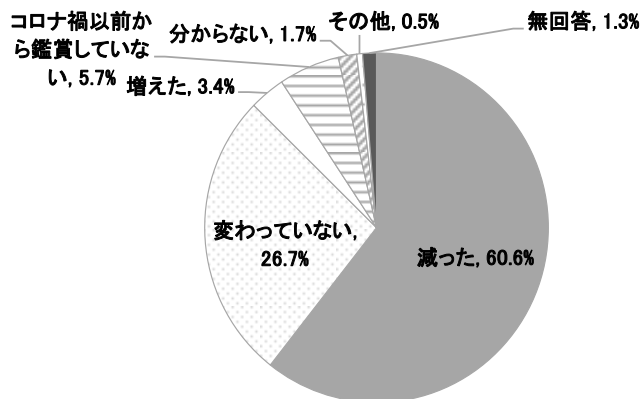
■年代別の特徴 (他年代と比べて回答率の高かったもの)

- ・10代「一緒に鑑賞する仲間がいること」
- ・20代および30代「余暇時間の増加により鑑賞のための時間が確保されること」
- ・30代「小さな子どもと一緒に楽しめること、もしくは託児サービスがあること」

※ほぼ全ての年代で1位～3位は全体集計と同じ

③ コロナ禍における鑑賞機会の変化(直接鑑賞) 問3

■「減った」の割合は約6割



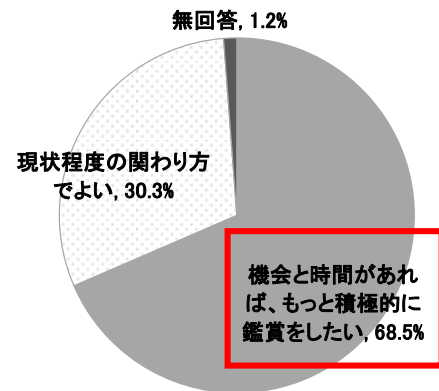
★クロス集計 鑑賞の有無 × コロナ禍における鑑賞機会の変化

この1年間で鑑賞を行わなかった者のうち、約半数はコロナ禍の影響で鑑賞機会を失っている。

		コロナ拡大前と比較した最近1年間の鑑賞の機会の変化							
		総数	減った	変わっていない	増えた	コロナ禍以前から鑑賞して	分からない	その他	無回答
最近1年間の鑑賞の有無	鑑賞有	731	462	217	30	6	7	4	5
		100.0%	63.2%	29.7%	4.1%	0.8%	1.0%	0.5%	0.7%
	鑑賞無	180	92	30	1	44	9	1	3
		100.0%	51.1%	16.7%	0.6%	24.4%	5.0%	0.6%	1.7%

④ 今後の鑑賞希望(直接鑑賞+配信含む) 問5-1

■鑑賞機会の増を望む割合は、コロナ禍で影響を受けた層で特に高い



★クロス集計

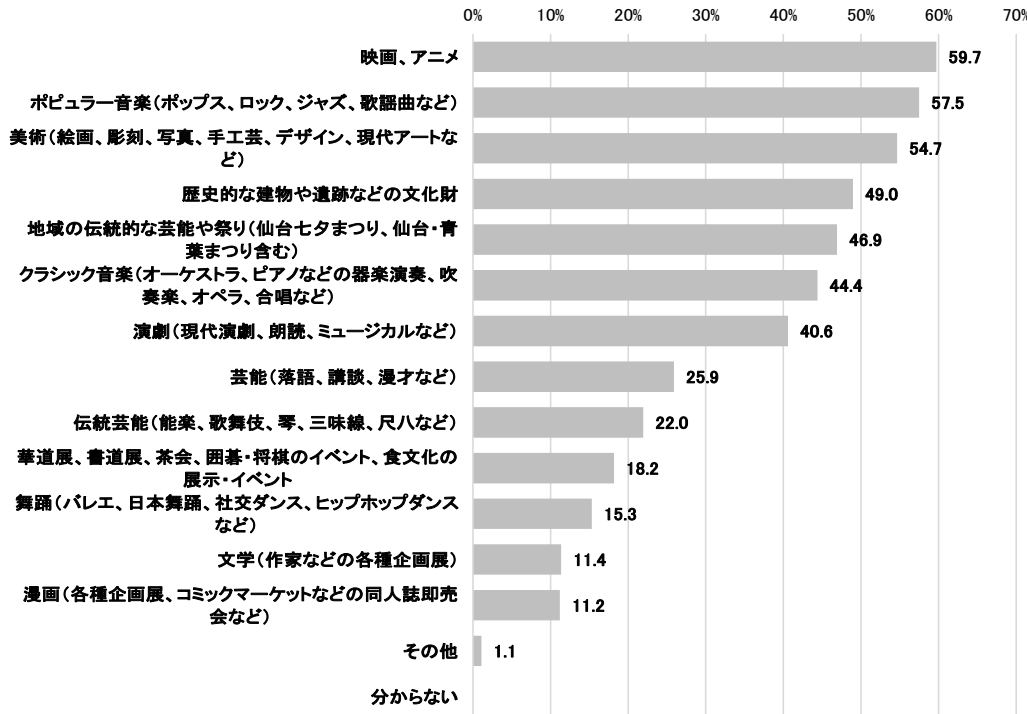
コロナ禍における鑑賞機会の変化 × 今後の鑑賞希望
「減った」と回答した層の8割超が「もっと鑑賞したい」と回答

		今後の文化芸術の鑑賞への関わり			
		総数	機会と時間があれば、もっと積極的に鑑賞をしたい	現状程度の関わり方でよい	無回答
総数		924	633	280	11
		100.0%	68.5%	30.3%	1.2%
コロナ拡大前と比較した最近1年間の鑑賞の機会の変化	減った	560	449	109	2
		100.0%	80.2%	19.5%	0.4%
	変わっていない	247	133	114	0
		100.0%	53.8%	46.2%	0.0%
	増えた	31	22	9	0
		100.0%	71.0%	29.0%	0.0%
	コロナ禍以前から鑑賞していない	53	17	32	4
		100.0%	32.1%	60.4%	7.5%
分からない	16	6	10	0	
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%	
その他	5	4	1	0	
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	
無回答	12	2	5	5	
	100.0%	16.7%	41.7%	41.7%	

⑤ 今後鑑賞してみたいジャンル(直接鑑賞+配信含む) 問5-2

【全体集計】

- 1位 映画、アニメ
- 2位 ポピュラー音楽
- 3位 美術



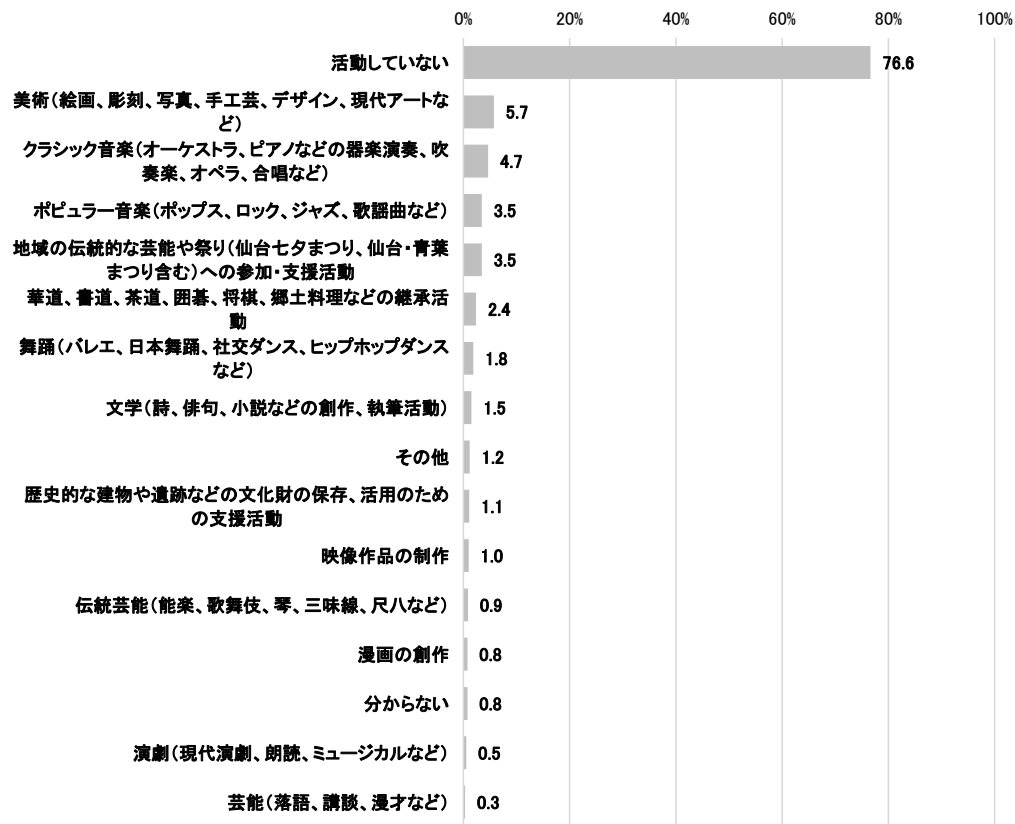
★クロス集計 実際に鑑賞したものと鑑賞機会を増やしたいものとの差分
《潜在ニーズの高いもの》

- 1位 ポピュラー音楽
- 2位 クラシック音楽
- 3位 演劇

分野	鑑賞機会を増やしたい	最近1年間で鑑賞した	差
ポピュラー音楽	364	167	197
クラシック音楽	281	104	177
演劇	257	84	173
美術	346	220	126
芸能	164	43	121

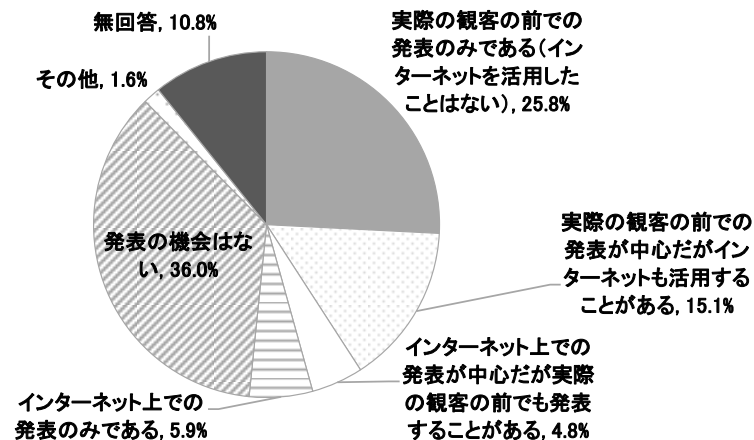
⑥ この1年間の活動の状況 問6-1

■全体の活動率 20.0%



⑦ 活動発表の機会としてのインターネットの活用状況 問6-3

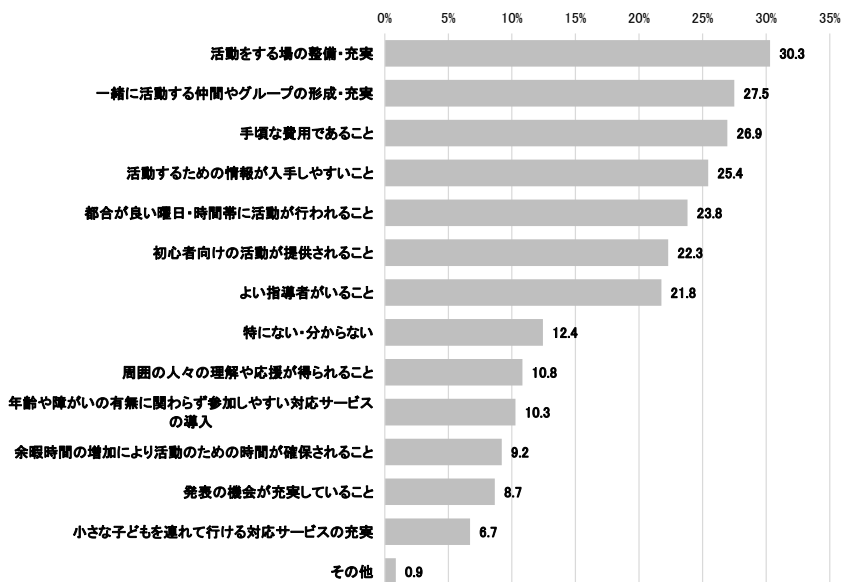
■「インターネットを活用している」「実際の観客の前での発表のみ」が拮抗



⑧ 活動のために望ましいと思うこと 問7

【全体集計】

- 1位 活動をする場の整備・充実
- 2位 一緒に活動する仲間やグループの形成・充実
- 3位 手頃な費用であること



■年代別の特徴（他年代と比べて回答率の高かったもの）

- ・10代「一緒に活動する仲間やグループの形成・充実」
- ・30代「小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実」
- ・60歳以上「活動するための情報が入手しやすいこと」

★クロス集計 活動分野 × 活動のために望ましいと思うこと

① 「活動をする場の整備・充実」は活動の分野を問わず高い傾向

★クロス集計 活動分野 × 活動のために望ましいと思うこと

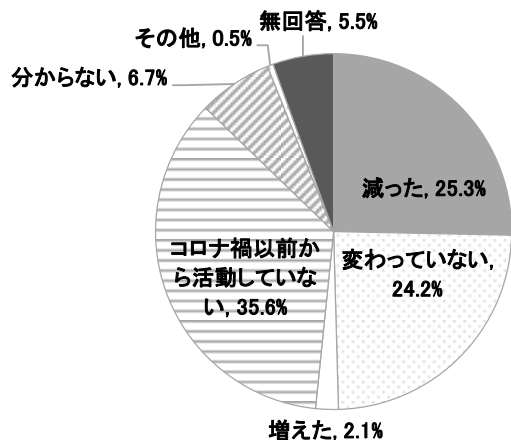
② 活動していない層の希望

- 1位：活動するための情報が入手しやすいこと
- 2位：一緒に活動する仲間やグループの形成・充実
- 3位：活動をする場の整備・充実

	文化芸術活動の実践や支援のために望ましいと思うこと																		
	総数	活動をする場の整備・充実	一緒に活動する仲間やグループの形成・充実	発表の機会が充実していること	よい指導者がいること	活動するための情報が入手しやすいこと	手頃な費用であること	周囲の人々の理解や応援が得られること	初心者向けの活動が提供されること	小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実	年齢や障がいのある人が参加しやすい対応サービスの導入	余暇時間の増加により活動のための時間が確保されること	都合の良い曜日・時間帯に活動が行われること	特にない・分からない	その他	無回答			
総数	924	280	254	80	201	235	249	100	206	62	95	85	220	115	9	42			
	100.0%	30.3%	27.5%	8.7%	21.8%	25.4%	26.9%	10.8%	22.3%	6.7%	10.3%	9.2%	23.8%	12.4%	0.9%	4.5%			
最近1年間の文化芸術活動の実践や支援	43	22	16	5	14	6	16	4	4	2	7	3	7	2	0	2			
	100.0%	51.2%	37.2%	11.6%	32.6%	14.0%	37.2%	9.3%	9.3%	4.7%	16.3%	7.0%	16.3%	4.7%	0.0%	4.7%			
クラシック音楽（オーケストラ、ピアノなどの器楽演奏、吹奏楽、オペラ、合唱など）	32	16	11	7	5	6	11	7	7	1	3	1	4	2	0	1			
	100.0%	50.0%	34.4%	21.9%	15.6%	18.8%	34.4%	21.9%	21.9%	3.1%	9.4%	3.1%	12.5%	6.3%	0.0%	3.1%			
ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲など）	53	22	20	13	17	16	21	5	12	3	2	6	9	0	1	1			
	100.0%	41.5%	37.7%	24.5%	32.1%	30.2%	39.6%	9.4%	22.6%	5.7%	3.8%	11.3%	17.0%	0.0%	1.9%	1.9%			
美術（絵画、彫刻、写真、手工芸、デザイン、現代アートなど）	5	3	2	2	0	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1			
	100.0%	60.0%	40.0%	40.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%			
演劇（現代演劇、朗読、ミュージカルなど）	17	10	6	3	9	4	7	1	0	2	1	1	3	0	0	0			
	100.0%	58.8%	47.1%	17.6%	52.9%	23.5%	41.2%	5.9%	0.0%	11.8%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%			
舞踊（バレエ、日本舞踊、社交ダンス、ヒップホップダンスなど）	14	7	5	0	2	2	4	3	2	1	1	2	2	0	0	2			
	100.0%	50.0%	35.7%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	21.4%	14.3%	7.1%	7.1%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%			
文学（詩、俳句、小説などの創作、執筆活動）	9	3	1	3	1	5	1	2	3	0	0	3	1	1	0	0			
	100.0%	33.3%	11.1%	33.3%	11.1%	55.6%	11.1%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%			
映画の制作	7	4	3	3	1	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0			
	100.0%	57.1%	42.9%	42.9%	14.3%	28.6%	28.6%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
漫画の制作	8	3	3	4	3	2	3	1	0	0	2	1	0	0	0	0			
	100.0%	37.5%	37.5%	50.0%	37.5%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
伝統芸能（能楽、歌舞伎、琴、三味線、尺八など）	3	2	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0			
	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
茶道、書道、茶道、囲碁、将棋、郷土料理などの継承活動	22	8	6	2	8	6	6	1	2	1	1	2	3	1	1	2			
	100.0%	36.4%	27.3%	9.1%	36.4%	27.3%	27.3%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%	13.6%	4.5%	4.5%	9.1%			
歴史的な建物や遺跡などの文化財の保存、活用のための支援活動	10	6	3	0	4	2	3	3	0	0	1	0	3	0	0	0			
	100.0%	60.0%	30.0%	0.0%	40.0%	20.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
地域の伝統的な芸能や祭り（仙台七夕まつり、仙台・青葉まつり含む）への参加・支援活動	32	14	10	3	7	8	9	5	2	2	4	1	7	0	1	4			
	100.0%	43.8%	31.3%	9.4%	21.9%	25.0%	28.1%	15.6%	6.3%	6.3%	12.5%	3.1%	21.9%	0.0%	3.1%	12.5%			
活動していない	708	184	189	42	142	190	179	77	175	52	70	69	180	104	5	29			
	100.0%	26.0%	26.7%	5.9%	20.1%	26.8%	25.3%	10.9%	24.7%	7.3%	9.9%	9.7%	25.4%	14.7%	0.7%	4.1%			
分からない	7	1	1	0	1	1	2	1	2	0	1	0	1	2	0	1			
	100.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	14.3%			
その他	11	6	0	0	3	2	6	1	1	1	1	0	3	2	1	0			
	100.0%	54.5%	0.0%	0.0%	27.3%	18.2%	54.5%	9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%			

⑨コロナ禍における活動機会の変化 問8

■「減った」と「変わっていない」が拮抗。ただし分野別の差が大きい。



★クロス集計 活動の有無 × コロナ禍における活動機会の変化
この1年間で活動を行わなかった者のうち、約2割弱はコロナ禍の影響で活動機会を失っている。

		コロナ拡大前と比較した最近1年間の実践や支援の機会の変化							
		総数	減った	変わっていない	増えた	コロナ禍以前から活動していない	分からない	その他	無回答
最近1年間の文化芸術活動の有無	活動有	186	99	62	16	3	3	0	3
		100.0%	53.2%	33.3%	8.6%	1.6%	1.6%	0.0%	1.6%
	活動無	714	130	157	3	322	55	5	42
		100.0%	18.2%	22.0%	0.4%	45.1%	7.7%	0.7%	5.9%

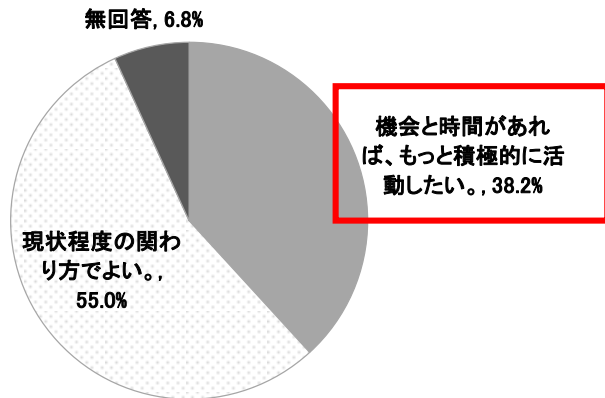
★クロス集計 活動の分野 × コロナ禍における活動機会の変化
《「減った」と回答した割合が高かったもの》

- ・演劇(80.0%)
- ・歴史的な建物や遺跡などの文化財の保存、活用のための支援活動(80.0%)
- ・伝統芸能(75.0%)

	コロナ拡大前と比較した最近1年間の実践や支援の機会の変化							
	総数	減った	変わっていない	増えた	コロナ禍以前から活動していない	分からない	その他	無回答
総数	924	234	224	19	329	62	5	51
	100.0%	25.3%	24.2%	2.1%	35.6%	6.7%	0.5%	5.5%
クラシック音楽（オーケストラ、ピアノなどの器楽演奏、吹奏楽、オペラ、合唱など）	43	16	20	4	1	2	0	0
	100.0%	37.2%	46.5%	9.3%	2.3%	4.7%	0.0%	0.0%
ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、歌謡曲など）	32	20	8	4	0	0	0	0
	100.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
美術（絵画、彫刻、写真、手工芸、デザイン、現代アートなど）	53	24	24	5	0	0	0	0
	100.0%	45.3%	45.3%	9.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
演劇（現代演劇、朗読、ミュージカルなど）	5	4	0	1	0	0	0	0
	100.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
舞踊（バレエ、日本舞踊、社交ダンス、ヒップホップダンスなど）	17	10	4	3	0	0	0	0
	100.0%	58.8%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
文学（詩、俳句、小説などの創作、執筆活動）	14	3	9	1	0	0	0	1
	100.0%	21.4%	64.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%
映像作品の制作	9	3	3	3	0	0	0	0
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
漫画の創作	7	4	3	0	0	0	0	0
	100.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伝統芸能（能楽、歌舞伎、琴、三味線、尺八など）	8	6	2	0	0	0	0	0
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
芸能（落語、講談、漫才など）	3	2	1	0	0	0	0	0
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
華道、書道、茶道、囲碁、将棋、郷土料理などの継承活動	22	13	5	2	1	0	0	1
	100.0%	59.1%	22.7%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%	4.5%
歴史的な建物や遺跡などの文化財の保存、活用のための支援活動	10	8	2	0	0	0	0	0
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
地域の伝統的な芸能や祭り（仙台七夕まつり、仙台・青葉まつり含む）への参加・支援活動	32	23	7	0	1	0	0	1
	100.0%	71.9%	21.9%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%
活動していない	708	130	154	3	321	54	5	41
	100.0%	18.4%	21.8%	0.4%	45.3%	7.6%	0.7%	5.8%
分からない	7	1	3	0	1	1	0	1
	100.0%	14.3%	42.9%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%
その他	11	5	2	1	1	1	0	1
	100.0%	45.5%	18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
無回答	24	5	5	0	4	4	0	6
	100.0%	20.8%	20.8%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	25.0%

⑩ 今後の活動希望 問9-1

■活動機会の増を望む割合は、コロナ禍で影響を受けた層で高い



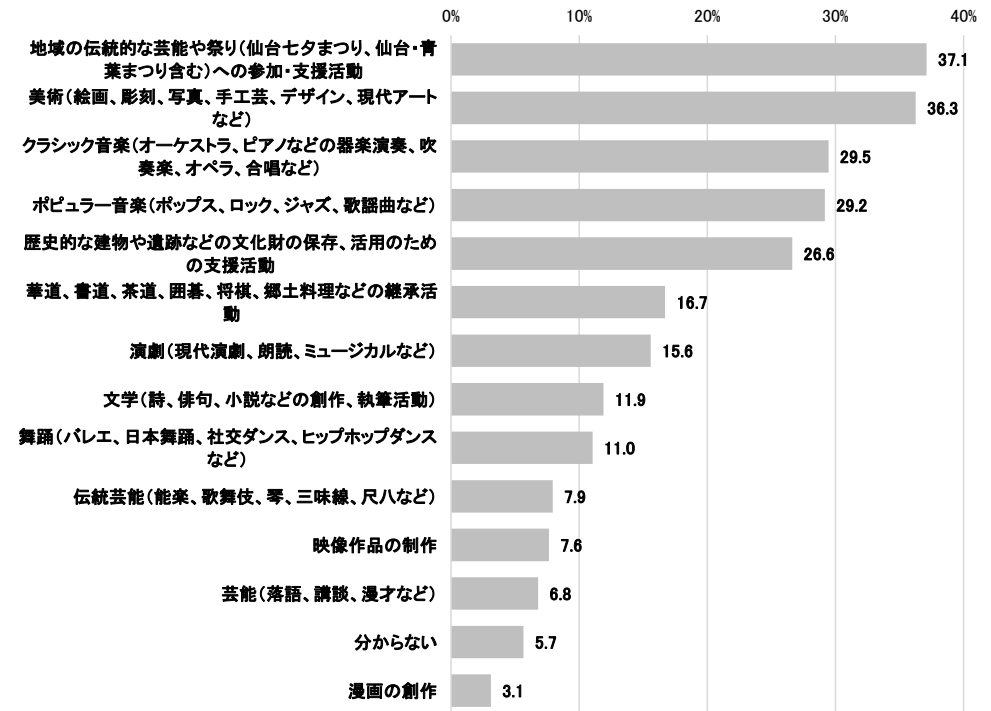
★クロス集計 コロナ禍における活動機会の変化 × 今後の活動希望 (減ったと回答した層)もっと活動したい > 現状程度の関わり方でよい

		今後の文化芸術の実践への関わり			
		総数	機会と時間があれば、もっと積極的に活動したい。	現状程度の関わり方でよい。	無回答
総数		924	353	508	63
		100.0%	38.2%	55.0%	6.8%
コロナ拡大前と比較した最近1年間の実践や支援の機会の変化	減った	234	161	67	6
		100.0%	68.8%	28.6%	2.6%
	変わっていない	224	70	153	1
		100.0%	31.3%	68.3%	0.4%
	増えた	19	10	9	0
		100.0%	52.6%	47.4%	0.0%
	コロナ禍以前から活動していない	329	93	223	13
	100.0%	28.3%	67.8%	4.0%	
分からない	62	13	44	5	
	100.0%	21.0%	71.0%	8.1%	
その他	5	2	2	1	
	100.0%	40.0%	40.0%	20.0%	

⑪ 今後活動してみたいジャンル 問9-2

【全体集計】

- 1位 地域の伝統的な芸能や祭り
- 2位 美術
- 3位 クラシック音楽



■年代別の特徴 (トップの項目)

- ・10代、20代「クラシック音楽」
- ・20代、30代「美術」
- ・40代、50代「地域の伝統的な芸能や祭りへの参加・支援活動」
- ・60代以上「美術」

※20代はクラシック音楽と美術が同率でトップ

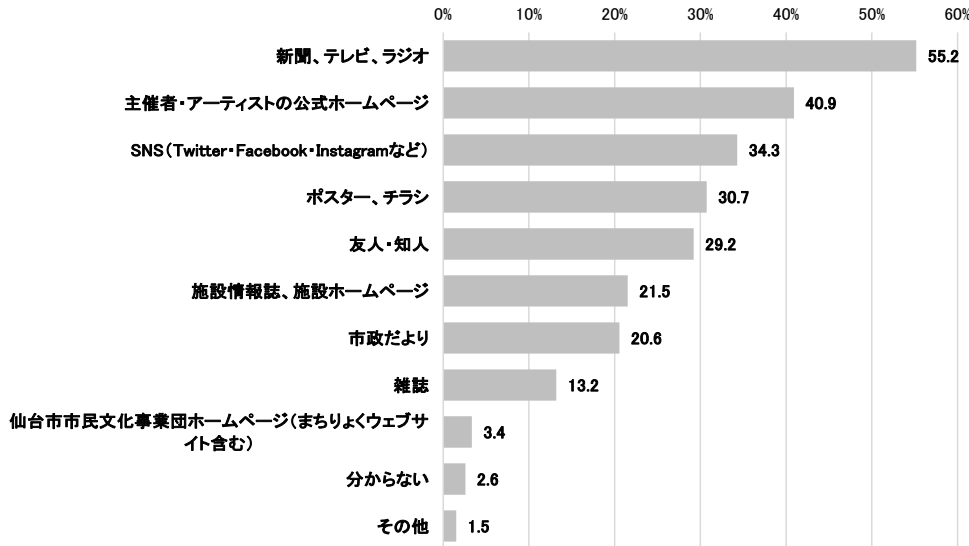
⑫ 情報の入手経路 問11

【全体集計】

1位: 新聞、テレビ、ラジオ

2位: 主催者・アーティストの公式ホームページ

3位: SNS



【年代別の特徴 トップの項目】

10~30代: SNS

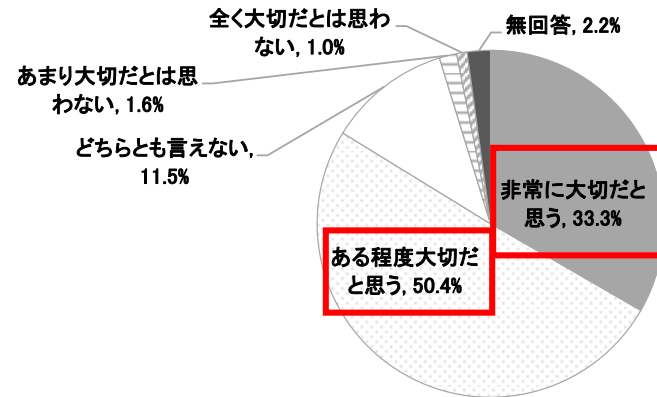
40代: 主催者等のホームページ

50代以上: 新聞、テレビ、ラジオ

年齢	主催者・アーティストの公式ホームページ	SNS (Twitter・Facebook・Instagramなど)	新聞、テレビ、ラジオ
15~19歳	26	40	19
20~29歳	35	49	17
30~39歳	76	81	48
40~49歳	79	63	62
50~59歳	72	51	97
60~69歳	68	24	150
70歳以上	22	9	117
	12.6%	5.2%	67.2%

⑬ 文化芸術への意識 問12

■「大切」の割合は8割を超える



★クロス集計 鑑賞・活動の状況 × 文化芸術への意識

鑑賞や活動を行っていない層でも文化芸術に対する意識は高い傾向

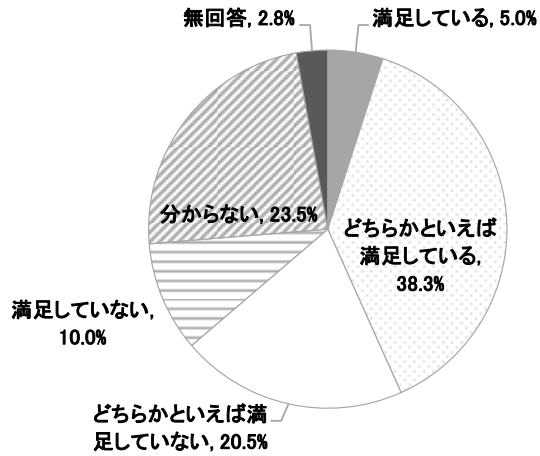
⇒ 鑑賞無の75%、活動無の81.9%が「非常に大切」「ある程度大切」と回答

		市民が文化芸術の鑑賞や自ら活動を行うことの大切さ						
		総数	非常に大切だと思う	ある程度大切だと思う	どちらとも言えない	あまり大切だとは思わない	全く大切だとは思わない	無回答
最近1年間の鑑賞の有無	鑑賞有	731	264	368	74	8	5	12
		100.0%	36.1%	50.3%	10.1%	1.1%	0.7%	1.6%
鑑賞無		180	42	93	30	7	4	4
		100.0%	23.3%	51.7%	16.7%	3.9%	2.2%	2.2%

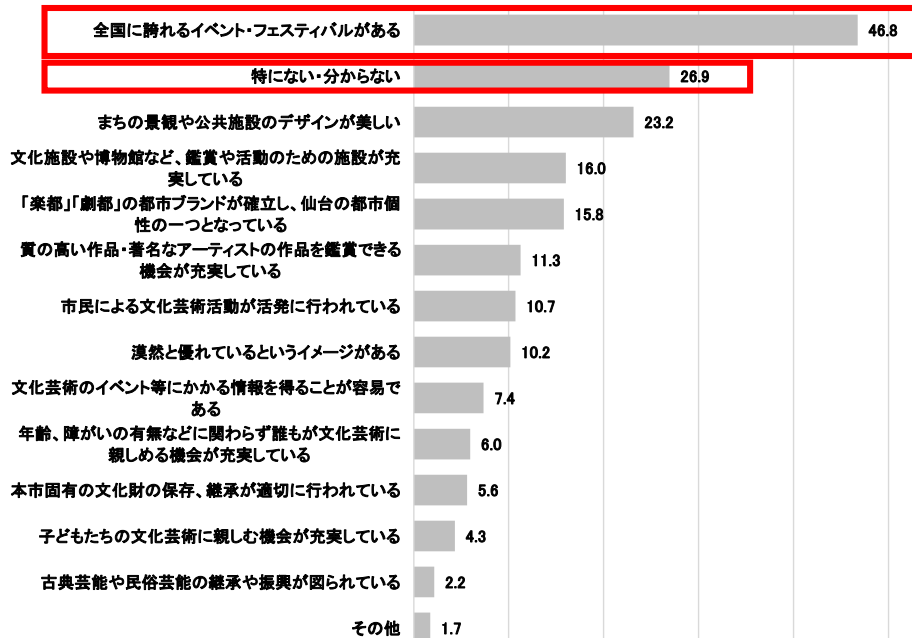
		市民が文化芸術の鑑賞や自ら活動を行うことの大切さ						
		総数	非常に大切だと思う	ある程度大切だと思う	どちらとも言えない	あまり大切だとは思わない	全く大切だとは思わない	無回答
最近1年間の文化芸術活動の有無	活動有	186	99	75	9	0	1	2
		100.0%	53.2%	40.3%	4.8%	0.0%	0.5%	1.1%
活動無		714	200	385	96	15	8	10
		100.0%	28.0%	53.9%	13.4%	2.1%	1.1%	1.4%

⑭ 市の文化的な環境への満足度、優れていると思う点、今後力を入れるべき点 問13・問14・問15

【仙台市の文化的な環境への満足度】



【仙台市が文化芸術の面で優れている・充実していると思う点】

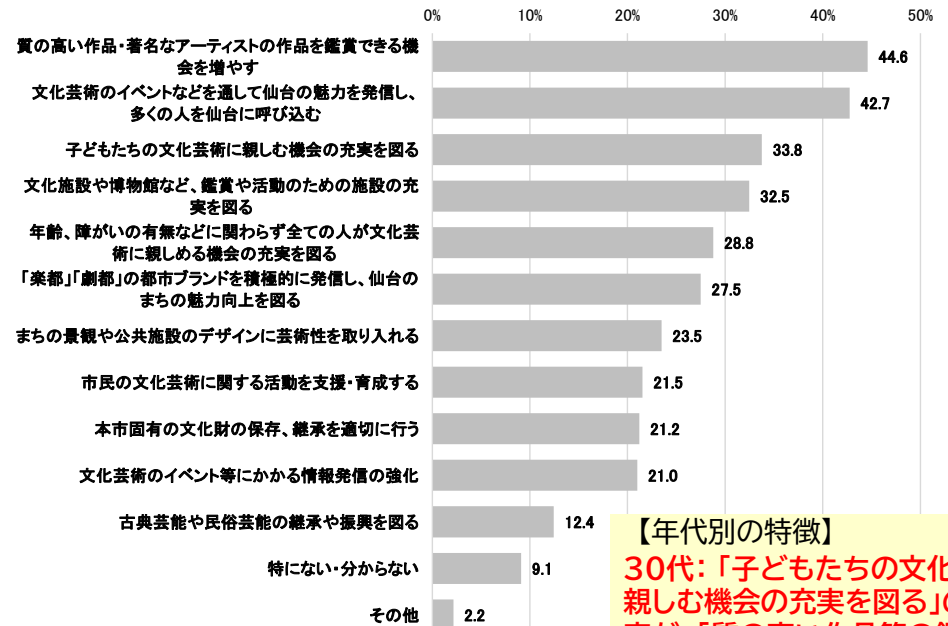


★クロス集計 満足度 × 力を入れるべき点 《不満と回答した層》

1位: 質の高い作品等の鑑賞機会の増 2位: 文化施設等の充実
3位: 文化芸術イベント等を通じた魅力発信

		仙台市が今後力を入れていくべき文化芸術面														
		文化芸術のイベントなどを通して仙台の魅力発信に呼び込む	「楽都」「劇都」の都市ブランドを積極的に発信し、仙台の魅力を向上を図る	まちの景観や公共施設のデザインに芸術性を取り入れる	質の高い作品・著名なアーティストの作品を鑑賞できる機会を増やす	年齢、障がいの有無などに関わらず全ての人々が文化芸術に親しめる機会を充実させる	子どもたちの文化芸術に親しむ機会の充実を図る	文化施設や博物館など、鑑賞や活動のための施設強化	市民による文化芸術活動に関する活動を支援・育成する	文化施設や博物館など、鑑賞や活動のための施設充実を図る	古典芸能や民俗芸能の継承や振興を図る	本市固有の文化財の保存、継承を適切に行う	特にない・分からない	その他	無回答	
総数	924	395	254	217	412	266	312	194	199	300	115	196	84	20	21	
	100.0%	42.7%	27.5%	23.5%	44.6%	28.8%	33.8%	21.0%	21.5%	32.5%	12.4%	21.2%	9.1%	2.2%	2.3%	
仙台市の文化的な環境に対する満足度																
満足している	46	15	9	8	18	10	16	5	12	6	5	10	1	1	1	
	100.0%	32.6%	19.6%	17.4%	44.6%	21.7%	34.8%	10.9%	26.1%	13.0%	10.9%	21.7%	2.2%	2.2%	2.2%	
どちらかといえば満足している	354	177	114	83	183	105	121	70	84	120	39	77	18	5	3	
	100.0%	50.0%	32.2%	23.4%	51.7%	29.7%	34.2%	19.8%	23.7%	33.9%	11.0%	21.8%	5.1%	1.4%	0.8%	
どちらかといえば満足していない	189	82	70	63	93	61	69	43	47	84	28	41	3	6	3	
	100.0%	43.4%	37.0%	33.3%	49.2%	32.3%	36.5%	22.8%	24.9%	44.4%	14.8%	21.7%	1.6%	3.2%	1.6%	
満足していない	92	41	22	32	56	30	39	29	24	50	16	26	7	3	2	
	100.0%	44.6%	23.9%	34.8%	63.0%	32.6%	42.4%	31.5%	26.1%	54.3%	17.4%	28.3%	7.6%	3.3%	2.2%	
分からない	217	64	30	26	54	51	58	40	28	34	23	38	54	5	7	
	100.0%	29.5%	13.8%	12.0%	24.9%	23.5%	26.7%	18.4%	12.9%	15.7%	10.6%	17.5%	24.9%	2.3%	3.2%	

【仙台市が文化芸術の面で今後力を入れるべき点】

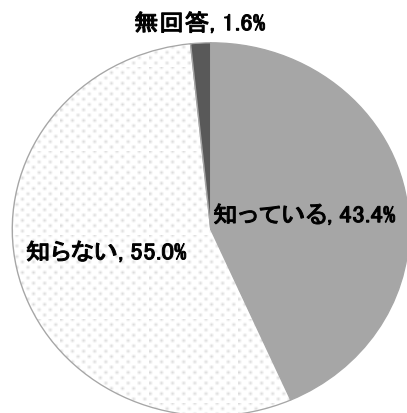


【年代別の特徴】

30代: 「子どもたちの文化芸術に親しむ機会の充実を図る」の回答率が、「質の高い作品等の鑑賞機会の増」と並びトップ

⑮ 新しい音楽ホールの認知度・期待すること 問15・問16

■「知らない」>「知っている」



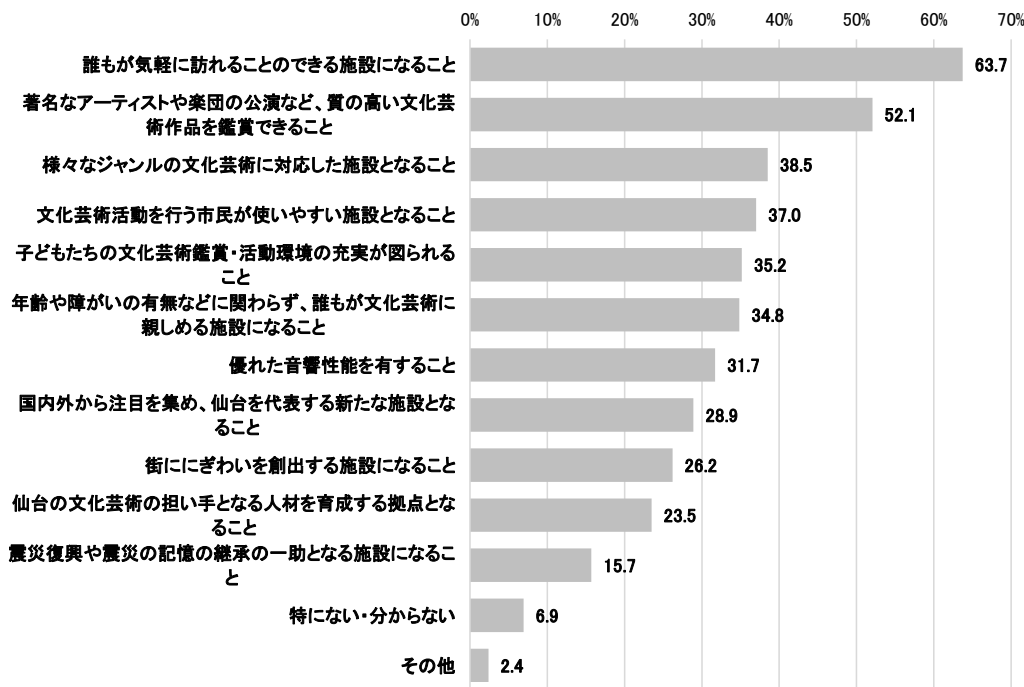
■年代別の特徴

・50歳以上「知っている」>「知らない」

		新しい複合施設の建設予定の周知			
		総数	知っている	知らない	無回答
年齢	15～19歳	62	5	57	0
		100.0%	8.1%	91.9%	0.0%
	20～29歳	65	12	53	0
		100.0%	18.5%	81.5%	0.0%
	30～39歳	127	38	89	0
		100.0%	29.9%	70.1%	0.0%
	40～49歳	134	61	73	0
	100.0%	45.5%	54.5%	0.0%	
50～59歳	155	77	76	2	
	100.0%	49.7%	49.0%	1.3%	
60～69歳	206	103	97	6	
	100.0%	50.0%	47.1%	2.9%	
70歳以上	174	105	62	7	
	100.0%	60.3%	35.6%	4.0%	

■新しい音楽ホールに期待すること

- 1位: 誰もが気軽に訪れることのできる施設になること
- 2位: 著名なアーティストや楽団の公演など、質の高い文化芸術作品を鑑賞できること
- 3位: 様々なジャンルの文化芸術に対応した施設となること



まとめ 文化芸術に関する市民の意識について（1）

（枠内は資料3及び報告書本編から要約）

1. 鑑賞の状況

- 直近1年間（令和3年12月～令和4年11月）の直接鑑賞率は79.1%（問1-1）
- コロナ禍後はもっと積極的に鑑賞したいと回答した人は68.5%（問5-1）
※コロナにより鑑賞希望が減った層では8割超が鑑賞機会の増を希望（問5-1×問3クロス）
- 具体的に鑑賞したい分野は幅広い。多くのジャンル（※）が4割を超える。（問5-2）
※鑑賞したい分野として挙げた人が4割を超えたジャンル
：映画・アニメ、ポピュラー音楽、美術、文化財、伝統芸能・祭り、クラシック音楽、演劇
- 鑑賞のために望ましいと思うこととしては、「手頃な費用」（53.9%）、「身近な場所で楽しめること」（36.4%）、「質の高い、一流の内容のものが楽しめること」（30.1%）が上位。（問2）
※ほぼ全ての世代で1位～3位は全体集計と同様だが、年代別の特徴として、10代「一緒に鑑賞する仲間がいること」、20代および30代「余暇時間の増加により鑑賞のための時間が確保されること」、30代「小さな子どもと一緒に楽しめること、もしくは託児サービスがあること」が他年代と比べて回答率が高い。

- 多くの市民が、日常生活の一つとして文化芸術に触れる機会を設けている。
- 幅広い分野で高い鑑賞意欲がある。
- 市民の多様なニーズを踏まえた鑑賞環境の整備により、実際の鑑賞行動につなげられる可能性がある。

2. 文化芸術活動の状況

- 自分で文化芸術活動を実践、又はボランティアとして活動を支援している人は全体の20.0%（問6-1）
- コロナ禍後はもっと積極的に活動したいと回答した人は38.2%（問9-1）
- 文化芸術活動を実践する上で特に望ましいこととしては、「活動する場の整備・充実」（30.3%）、「仲間やグループの形成・充実」（27.5%）、「手頃な費用」（26.9%）が上位。（問7）
※「活動をする場の整備・充実」は活動の分野を問わず高い傾向。また、活動をしていない層が考える望ましいこととしては「活動するための情報が入手しやすいこと」がトップ。（問7×問6-1クロス）
※年代別の特徴として、10代「一緒に活動する仲間やグループの形成・充実」、30代「小さな子どもを連れて行ける対応サービスの充実」、60歳以上「活動するための情報が入手しやすいこと」が他年代と比べて回答率が高い。

- およそ4割に積極的な活動意欲がある。
- 市民の多様なニーズを踏まえた活動環境の整備により、文化活動の実践につなげられる可能性がある。

まとめ 文化芸術に関する市民の意識について（２）

（枠内は資料３及び報告書本編から要約）

3. 情報の入手経路（問11）

- 全体集計では、「新聞、テレビ、ラジオ」（55.2%）、「主催者・アーティストの公式ホームページ」（40.9%）、「SNS」（34.3%）が上位。

※年代別の特徴として、10代～30代は「SNS」（10代：64.5%、20代：75.4%、30代：63.8%）、40代は「主催者等のホームページ」（59.0%）、50代以上が「新聞、テレビ、ラジオ」（50代：62.6%、60代：72.8%、70代以上：67.2%）の回答率がトップ。

➤ 世代別の現状を踏まえた情報の発信が必要

4. 文化芸術への意識（問12）

- 文化芸術を鑑賞することや文化芸術活動を行うことが「非常に大切」「ある程度大切」と回答した割合は８割を超える。

※鑑賞や活動を行っていない層でも、鑑賞無の75%、活動無の81.9%が「非常に大切」「ある程度大切」と回答しており、文化芸術への意識は高い傾向。（問12×問1-1・問6-1クロス）

➤ 文化芸術への意識の高さは本市の文化芸術面での強みの一つとなると考えられる

まとめ 文化芸術に関する市民の意識について（3）

（枠内は資料3及び報告書本編から要約）

5. 仙台市の文化的な環境の満足度（問13）

- 「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人が計43.3%
- 「満足していない」「どちらかといえば満足していない」と回答した人が計30.5%

6. 仙台市が文化芸術面で優れている・充実していること（上位5つ）（問14）

- 「全国に誇れるイベント・フェスティバルがある」（46.8%）
- 「特にない・分からない」（26.9%）
- 「まちの景観・公共施設のデザインが美しい」（23.2%）、
- 「施設が充実している」（16.0%）、
- 「楽都・劇都の都市ブランドが確立」（15.8%）

- 満足している人は4割強、一方で満足していないと回答した人も約3割に上る。
- 文化芸術面で優れている点について、具体的なイメージを持ってない市民も多い。

7. 今後どのようなことに力を入れていくべきか（上位5つ）（問15）

- 質の高い作品・著名なアーティストの作品の鑑賞機会の増 44.6%
- 文化芸術のイベントなどを通じて仙台の魅力を発信し、多くの人を呼び込む 42.7%
- 子どもたちの文化芸術に親しむ機会の充実を図る 33.8%
- 鑑賞や活動のための施設の充実 32.5%
- 全ての人々が文化芸術に親しめる機会の充実 28.8%

※年代別の特徴として、30代「子どもたちの文化芸術に親しむ機会の充実を図る」の回答率が、「質の高い作品等の鑑賞機会の増」と並びトップとなっている。

- 市民の多様な声を、文化芸術施策に活かしていく必要がある。